

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念「思いやり、やさしさ、ありのまま、地域の皆様と共に生活する喜び」を全体会議や内部研修会で唱和し実践につなげられている。			理念を玄関や事務所に掲示し、毎月の会議や研修会でも復唱している。常に頭に入れながら理念の実践努めている。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染拡大防止のため日頃からの地域行事(あきえ会、オレンジカフェ、歌う会)などの交流は中止となったが、職員が中心となり規模は縮小したが行えた。	コロナ感染拡大防止のために地域事業はできていないが、職員が規模を縮小しながら実施しているので、今後も中止にせず実施して欲しい。		中学生のショートボランティア受け入れや各種行事等が中止になったが、地域資源を見つけ出し小規模ながらも実施継続している。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染拡大防止のため、運営推進会議は書類開催となるが多かったが各委員より意見を頂いた内容はサービス向上に活かされた。	書類開催が続いたので、詳しい内容の説明がされなかったが、会議開催時に説明を受け、意見もでた。会議の必要性を感じ、コロナの終息を願った。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行政担当者へ書面ではあるが運営推進会議内容や事業所の状態を詳しく報告している。また、日頃から分からないことがあれば相談をし、解決を図る等協力関係が築かれている。	引き続き協力関係を築いて欲しい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止委員会(法人)は毎月開催されていた。また、事業所の身体的拘束適正化検討委員会の会議資料内容も各委員の方に提出し、随時報告を受けていた。		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的なグループホーム運営推進会議において具体的な内容で報告を受けている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止・身体拘束廃止の研修に関しては、法定で定められている以上に実施された。事業所においても虐待が見過ごされることがないように日々努めている。		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的なグループホーム運営推進会議において具体的な内容で報告を受けている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体の研修で権利擁護について勉強する。研修のほかに参考文章や書籍などを回覧し、職員は各自で勉強している。			実際の利用者で制度利用をされている方はいないが、研修会などで制度について学ぶ機会がある。

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用契約書や重要事項説明書、年度終末期に向けた方針について利用者や家族に十分説明している。また、不明な点があればどのようなことでも連絡を頂いている。			管理者中心で契約の締結などを行っているが、契約内容については職員の学ぶ機会を設けている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活の中で利用者の意見や希望を聞きサービスに活かしている。また、家族に利用者の状態報告なども含め定期的に電話連絡を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム運営推進会議にて報告を受けている。コロナ渦においても運営状況に関する書類(運営推進会議書類開催)や会議において情報が開示され、運営に反映されていた。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に職員の意見や要望を聞く機会を設け、職員からの提案で業務見直し等が行われる。それらの意見は運営に反映されている。			人事考課までとはなっていないが、定期的に施設長面談などが実施されている。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設長や副施設長は、各職員の勤務状況をよく把握され勤務が忙しい場合にはサポート体制がある。皆が協力し合える良い職場環境がある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム運営推進会議資料職員実施状況にて報告を受けている。運営推進関係の書類上では、各種会議(法人全体、GH内、職員クラブなど)報告が提示されており、より良い職場環境に向けている姿勢が見られる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	経験年数によってケアの実際と職員の力量にはばらつきがある。一人の職員のレベルに応じたトレーニングを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアアップに向けた具体的な研修等の内容確認はないが、事故報告及び苦情解決の件数をみる限り、一定水準の質の維持はみられていると思われる。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同法人間の合同行事や福島県認知症グループホーム協議会への参加などは、コロナ感染拡大防止のため中止されたが、今後コロナ感染終息に伴い、活動を再開して行きたい。			コロナ渦の中で対面での勉強会や研修会、ネットワークづくりなどの機会は減ったが、オンラインを使用し、できる範囲の取り組みはできた。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の今までのバックグラウンドを大切に、介護される立場、介護する立場ではなくお互いに生活を支え合う関係性を築いている。			利用者の方の一つひとつの意見を聴き入れ、確認し合いながら支援できていた。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染拡大防止のため、直接的な面会や外出は無くなったが、お便りや電話連絡などでできる限りの支援に努めている。	お便りや電話と限られていても、支援を続けてほしい。		コロナ感染状況に応じて、馴染みの場所への外出ができた。人との交流は難しかったが、できる範囲で支援に努めて行きたい。

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の関わりの中で利用者一人ひとりの意向や把握に努めている。困難な場合は、家族の協力を得て利用者本位に検討し、サービスに結び付けている。			利用者の方、その時その時の思いや希望をできる限り実現できるように支援できた。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画は3ヵ月ごとに利用者の状況等の変化、モニタリング結果により計画が実態に合わない場合には、随時見直しをしている。介護計画変更対象者は、変更日前に担当者会議を開催し職員の意見も反映されている。	各利用者のケアプラン更新月には、ケアプラン担当者会議が開催されている。引き続きその人らしいケアプランの作成を継続して欲しい。	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に入所者のケアプラン担当者会議が開催されており、入所者の現状に即したケアプランの見直しが計画的に行われている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアの実践・結果、気づきなどの情報共有はパソコン入力や口頭による申し送りが主である。ケアプランに応じてケアの実践が記入できるようになっている。		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症状況の中施設訪問もできないため、介護計画の内容が不明。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族のニーズに合わせて職員の勤務変更や時間調整を柔軟に行っている。同じく、計画予定外のことがあっても柔軟に対応できている。	例えば、利用者家族の法要など、コロナ感染対策をしっかりと行いながら参加できた。今後も現状にあった柔軟な対応をして行ってほしい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年恒例となっている大きな行事は全て規模を縮小して行われた。小規模ながらも楽しまれていた。外出も徐々に近場ではあるが、機会が増えてきている。	地域への参加は、コロナ渦でもあり難しいが、創意工夫をしながら継続してほしい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者、家族の希望に沿ったかかりつけ医で受診出来るよう支援している。コロナ感染拡大防止のため家族の同行は依頼しなかったが、診察結果については電話で報告している。			コロナ感染状況に応じて、家族が通院を行う場合と施設側で行う場合に分けられていた。コロナ感染対応についても家族が理解され連絡調整もできていた。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院の医療連携室や病院関係者とは普段から連絡を取り合いながら連絡を密にとっている。情報交換によって早期退院や次の施設への入所をスムーズに行えている。		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域医療機関との聞き取りの中で判断を行った。健康状態の急変時など緊急を要する場合は、かかりつけ医や協力医療機関への連絡等の措置対策が講じられている。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化や終末期に向けた方針を文書作成し、入所時の他に普段から随時見直しを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所者の重度化に応じ、同法人施設への手続き支援や医療機関への連携がされている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループたんぽぽ職員全員は救急救命講習を受講しており、事故や急変時にいつでも対応できるようにしている。緊急時の対応マニュアルに沿って行えるように保管場所も周知されている。			定期的に救急救命などの講習を行い、いつどのようなことがあっても対応できるように備えている。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「年度防災訓練実施予定表」を作成し、年1回消防署立会の総合防災訓練の他、月1回昼・夜間想定避難訓練や消防設備の点検を実施している。また、非常災害協力隊が結成されており、緊急連絡網も作成されている。非常用備蓄品として米、水、インスタント食品等併設している特別養護老人ホームと合同にて6日分準備している。	コロナ渦において対面での実地訓練回数が少なくなったが、いざという時に迅速に避難できるように訓練を重ねていくことを望んでいる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループ運営推進会議にて報告を受けている。風水害訓練や夜間想定通報訓練及び避難訓練実施報告がある。コロナ渦においてもオンラインで内部研修が実施されている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的なケアにおいてプライバシーを重んじた声掛けや支援に努めている。また、個人情報がかかっている書籍類は書庫に保管されている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症状況の中施設訪問もできないため、日常生活のプライバシー面の内容が不明だが、法人の個人情報保護の方針に基づいて入所者の個人情報が保護され、且つ尊重したケアに向け努力されている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	申し送りや本人の意向などを尊重し、当日の勤務者同士で一人ひとりの希望に沿ったケアについて話し合い支援を行っている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が出来る盛り付けやテーブル拭きなどをお手伝い頂き、職員と一緒にテーブルを囲み会話を交わしながら食事が楽しめるよう支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症状況の中施設訪問もできないため不明だが、入所者の能力を生かしながら食事の準備などが行われている。また、季節性を取り入れた食事環境の雰囲気づくりに努められている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の毎食の食事量や一日の摂取カロリーなども管理して支援している。また、水分摂取量も記録に残している。			日々の栄養バランスや水分量などは管理栄養士が管理されている。また、lifeを活用した栄養管理もされている。

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後には必ず口腔ケアを実施している。義歯洗浄は夜間帯に洗浄剤につける支援を行う。また、歯ブラシで口腔ケアの難しい利用者は、マウススポンジを使用している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症状況の中施設訪問もできないため不明。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間排泄チェック表を活用して確認を行っている。便秘ぎみの利用者には植物繊維サプリや適度な運動を促がしている。また、できるだけトイレで排泄できる支援を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症状況の中施設訪問もできないため不明。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴時間は固定しておらず、利用者の生活習慣や意向に沿って支援している。また、羞恥心に配慮してなるべく同性の介助者に合わせて支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活習慣や生活パターンに合わせて安眠して頂くように配慮している。現在のところ夜間の不眠の方はいない。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの疾患について適時職員の話し合いがもたれている。また、処方薬の副作用を申し送りや会議などで話し合いながら対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症状況の中施設訪問もできないため不明。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分な形では支援できていないが、現在の本人の状態に合わせた支援を行う。具体的に季節を感じられる創作物の作成や塗り絵、折り紙、生け花などの支援を行っている。	コロナ渦で屋外の活動が制限されているが、出来る範囲の中で支援して欲しい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため、ほとんどの外出が控えられたが、敬老会、夏祭り、近場の外出などは職員中心で支援出来ていた。	自粛の中でも支援しているので引き続き、支援していく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物などの外出は、コロナ感染予防のためほとんどできなかった。自分でお金の使用ができる利用者			

				が多いため段階的に緩和された場合には支援していきたい。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設の電話は、いつでも自由に使用できるようになっている。また、定期的な手紙のやりとりも行っていた。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各居室前には季節を感じられる折り紙やカレンダーなど職員手作り物が飾られる。また、建物内には、トイレの表示や居室の名札、浴室の表示など生活の上で迷わないようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症状況の中施設訪問もできないため不明だが、施設内での生活が中心となり、職員の工夫などで居住空間に季節を感じられる。(施設広報誌より確認)
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活習慣や生活パターンは、一人ひとりの利用者によって違うが、できる限り本人の意向に添いながら支援出来ている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため今まで対面でできていた家族や友人との関係が難しくはなったが、創意工夫しながら本人主体の暮らしを支えていきたい。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の健康状態や状態変化など見逃さず、支援出来ていた。利用者の体調不良の際には、職員同士がその場で話し合いをもち、適切に対応できていた。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な健康診断や予防接種を計画的に医務室管理の下、実施され入所者の健康維持に努めている。また、内部研修により安全対策が講じられている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向や生活習慣を重視し、支援を行える。基本的な生活時間は大体決められているが、柔軟に本人のペースに合わせ支援出来ていた。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	衣類関係だけでなく昔なじみの家具や大切にしてきた物を居室に置かれている。なじみがある物で安心できる環境をつくりだしている。		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用されていた馴染みの家具や身の回り品について、居室スペース内で持ち込みが可能となっており、入所者本人の想いを尊重されている事が確認できる。(施設内利用説明書で確認)
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望によって戸外に出掛ける機会は、少なかったが、職員がマネジメントして本人のなじみの場所や関連する所への外出はあった。	コロナ感染拡大防止のため祭事は、規模縮小で制限されているが、出来る範囲内で支援して欲しい。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム内での本人の役割は、ほぼ固定されつつあるが、楽しみをもって行えるように支援している。また、役割や楽しみごとが増えるように考えながら支援することが出来た。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自然と利用者同士が会話をできる機会をつくる支援ができた。具体的に10時に行うリハビリ体操・ラジオ体操、15時にはおやつ提供時に一つのテーブルを囲み会話する機会を毎日実施。		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症状況の中施設訪問もできないため不明だが、入所者個々の特技などが生かされる場の提供(カラオケ、おやつ作り)により、生きがいのある生活に向けていることが広報誌などで確認できる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防で近隣や地域の人々との関わりが少なくなったが、今後は本氏の意向をよく確認し、地域交流を積極的に行っていききたい。	自粛の中でも 支援しているので引き続き、支援していく。		
49	総合	本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中で、制限されることがあったが、安心できる日々を送ることができた。よりよい生活の質の向上のために、ともに生活する喜びを大切に支援していききたい。	自粛の中でも 支援しているので引き続き、支援していく。	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ渦においても感染予防を徹底しながら、法人内GHとの交流がされている。入所生活の質の向上が図られている。